

昭和南海地震から64年が経ち、その体験談が聞かれなくなってきた。

次の南海地震のためにも、今、その体験談を残しておかなければ!

西の地防災きずな会は、徳島文理大学ならびに徳島大学と連携し、昭和南海地震体験談を中心とした地域独自の防災動画教材を制作。

(2010年度防災教育チャレンジプラン)

昭和南海地震による美波町の被害

昭和21年12月21日午前4時19分に発生。マグニチュードは8.0と推定されている。美波町は震源に近かったため、地震発生から約12分後に津波が到達。大波は3回、町を襲った。津波は満潮時と重なり、波高は第2波が最高で、由岐、木岐で3.6m、日和佐で4.0m。大部分の家が床上0.9~1.3mの浸水を受け、流失家屋は43戸に及んだ。死者は9人、重軽傷者は63人。

語り継ぐ・昭和南海地震



Photo by 気象庁地震津波監視課

語り継ぐ・昭和南海地震

西の地防災きずな会
(徳島県美波町由岐地区)

SUPPORT

徳島文理大学人間生活学部
メディアデザイン学科

講師 山城 新吾 氏
3年生 三谷 友香 氏
森本 亜惟 氏
山本智恵美 氏
米原 静香 氏

災きずな会

体験者
氏/浜武明氏/濱野善一氏/
代氏/眞南卓哉氏/
氏/山田包子氏 (50音順)

防災研究センター
-長 中野 晋 教授

この作品は、クリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 2.1 日本 ライセンスの下に提供されています。



